

2024年7月30日
学校教育部教育センター

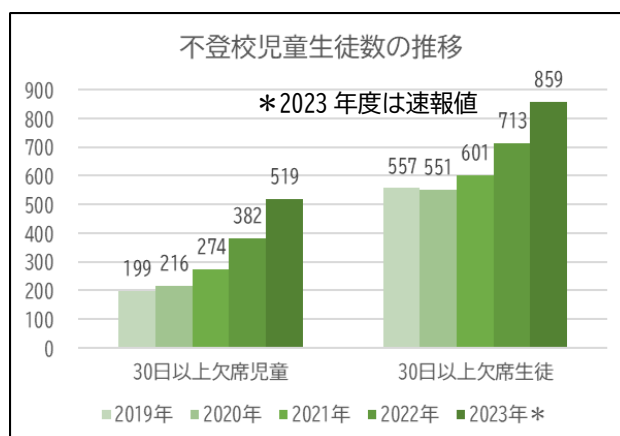
学びの多様化学校の設置について

町田市教育委員会では、急増する不登校児童生徒の学びの場の確保に取り組んでいます。

2023年度には、今後の不登校児童生徒支援としての取組事項をまとめた、「学びの多様化プロジェクト 2024-2028」を策定し、基本方針として『学校へ行く子も行かない子も、安心して育つまちだ』を掲げました。

学校を休んでいることにより、学習の機会を失うことがないように、児童生徒の学びの場を確保していきます。学びの場のひとつとして、「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」について、南成瀬小学校用地を活用し設置することを、方針決定しました。

学校を休んでいる児童生徒の中には、現在の在籍校に通うことは難しくても、環境が変われば登校したいという子どもたちがいます。学びの多様化学校は、新たな環境で改めて学校生活を送りたい子どもたちの選択肢となります。



1 学びの多様化学校とは

(1) 定義

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、特定の学校において教育課程の基準によらず特別な教育課程を編成することができるとする特別措置によって、文部科学大臣から指定された学校です。

(2) 対象となる児童生徒

町田市内在住の小・中学生で不登校または不登校傾向にある児童生徒の内、学びの多様化学校への登校を希望する方が対象です。

事前に、一定期間の体験教室を通して、通学や授業受講、対人交流などを体験します。心身の調子を崩したりすることなく、安定して登校できることを確認し、学びの多様化学校入退室検討委員会において入学・転入者を決定します。

(3) 通学区域

町田市内全域を対象とします。

＊公共交通機関または保護者の送迎により通学。

(4) 授業内容

学年相当の授業を集団で行います。休んでいた期間によっては、基礎学力の補填のための個別的学習を合わせて実施することもあります。その他、キャリア教育や対人関係スキルに関する授業の実施等を想定しています。

(5) 設置場所

学校再編により空き校舎となる南成瀬小学校既存校舎の一部を活用します。

(6) 開設時期

2029 年度を予定しています。

2 今後のスケジュール

学びの多様化学校の設置に先行して、教室版の学びの多様化学校である分教室の開設を進めています。分教室は、教育センター内に設置し、学びの多様化学校の開設と同時に閉室します。

分教室の運営を行いながら、学校規模に展開した場合を想定し、丁寧に準備をすすめます。

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
分教室型学びの多様化学校	開設準備	開設・運営			移行	
学びの多様化学校				準備委員会 開催	開設準備 改修工事	開設

【参考】他自治体の学びの多様化学校

学びの多様化学校『大阪市立心和中中学校』について
 ～令和6年4月1日に開校します～

学校の特徴

- ・ 異年齢交流、多文化共生教育の推進
- ・ 個々の学習理解度に応じた、ICTの活用や少人数指導
- ・ スクールカウンセラーを週5日間配置【相談体制の充実】
- ・ 自分のペースで休憩ができるリラックスルーム等の設置

イケア・ジャパン株式会社 IKEA鶴浜との連携

場 所:浪速区日本橋東3
(もと日東小学校)

昼間部:学びの多様化学校
(計70名)

夜間部:中学校の夜間学級
(計60名)



教室



リラックスルーム

※大阪市資料から引用

2